

# 島旅活性化を通じた瀬戸内企業 としての取り組みについて

本州四国連絡高速道路株式会社



写真1 瀬戸大橋の塔頂から眺める塩飽諸島

## 1 はじめに

本州四国連絡高速道路は、世界最高水準の技術と規模を誇る長大橋梁群を中心とする神戸淡路鳴門自動車道、瀬戸中央自動車道（瀬戸大橋）、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）の3ルートで構成されており、本州と四国を連絡する高速道路として、瀬戸内地域における交通の大動脈の役割を果たしています。

これらの道路は、日常生活はもちろん、業務や物流、観光など多様な目的で利用されるとともに、海峡部の橋梁には水道、電気、通信施設などの地域のライフラインも設けられ、かけがえのない社会インフラとしての使命を果たしております。

当社は、この本州四国連絡高速道路の管理を行う会社として、お客様に安全、安心、快適にご利用いただけることを基本に事業運営に努めてまいりました。また、SA・PAでの売店・レストランの運営のほか、これまで培ってきた橋梁技術を活用した事業や地域と連携した観光振興の取り組みなどを行っており、これらの事業を通じて、お客様に喜ばれ、社会に貢献する企業を目指しております。

## 2 瀬戸内企業としての取り組み

当社は、瀬戸内に立脚する公共性の高い企業として、そして、地域の発展を支える企業として、持てる力を最大限に発揮し責任を果たしていくことを目的に、2008年4月、「瀬戸内企業ビジョン」を策定しました。このビジョンに基づき、瀬戸内企業としての活動を実践していますが、更に地域に貢献し、お客様によりご利用いただきやすい道路とするため、瀬戸内企業としてエリア内の交流促進・地方創生への貢献に取り組んでおります。

具体的には、瀬戸内エリアで広域周遊観光を目指す点で認識を共有する「せとうち DMO」等と連携して、当社が管理する長大橋を活かした観光コンテンツをバージョンアップさせるとともに、これらと周辺地域の観光資源とを組み合わせた周遊型旅行商品の企画開発を行い、更なる交流の促進に繋げることであります。

当社が管理する長大橋を活かした観光コンテンツの例として、明石海峡大橋や瀬戸大橋において塔頂体験ツアーを実施し、海峡部長大橋梁を活用したインフラツアーを行うことで、お客様に橋の雄大さ、技術の素晴らしさを伝えております。

明石海峡大橋については、橋の建設や管理に携わったツアーリーダーが世界最長の橋の技術や歴史などを、自らの経験も交えて分かりやすく楽しく説明しながら、普段立ち入ることが出来ない管理用通路を通り、海面上約 300m の主塔にご案内して 360° のパノラマを体験していただくツアーとなっております。

瀬戸大橋については、同じく橋の建設や管理に携わった方による説明を受けながら、JR 瀬戸大橋線を通る車輦が間近で見られる管理用通路を通り、海面から 175m の塔頂において瀬戸内海の美しい塩飽諸島の眺めが見られるツアーとなっております。



図1 瀬戸内エリアの地域活性化への取組のイメージ

加えて、国土交通省の「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」において、全国で7つあるモデル地区の一つにしまなみ海道を構成する橋の一つである来島海峡大橋が選定され、事業者を公募してサイクリング等のコンテンツを組み合わせたツアーを実施する予定としており、各ルートにおいてインフラツアーを活用した地域活性化への取り組みを積極的に進めているところであります。

### 3 周遊観光ワークショップの設置について

長大橋を活用したインフラツーリズムと周辺地域の観光資源とを組み合わせた周遊型旅行商品の企画開発を行い、更なる交流の促進に繋げる取り組みの一つとして、自治体観光部局、関係DMO、観光関連民間事業者、行政機関等が一堂に会し、当社が提供する観光コンテンツのバージョンアップ方策と、周辺地域の観光資源と組み合わせた周遊型旅行商品の企画等についてワンストップ的に議論するワークショップを、本四高速3ルート毎に2019年度に設置しました。これまでに、各ルート毎に2～3回の会議を開催し、活発な意見交換がなされてきました。ワークショップにおける過去の主な議論テーマは、以下のとおりです。

#### 神戸淡路鳴門地域等周遊観光ワークショップ

- ・明石海峡大橋・大鳴門橋周辺地域における着地型観光商品造成活性化への貢献について

#### 瀬戸大橋周遊観光ワークショップ

- ・与島の魅力向上による広域周遊観光促進
- ・インフラツアーの魅力向上、与島発クルーズの魅力開花
- ・岡山・香川の多彩な観光コンテンツによる更なる広域周遊観光促進等

#### しまなみ海道周遊観光ワークショップ

- ・来島海峡大橋インフラツアー魅力度向上による「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」への達成貢献
- ・瀬戸田しおまち周辺における日帰りの着地型観光商品造成活性化による長期滞在化貢献

これらの議論を踏まえ、各種旅行商品の造成やインバウンドをターゲットとするファミトリップなどに取り組んでいます。

## 4 瀬戸内島旅活性化研究会について

瀬戸大橋周遊観光ワークショップにおきまして、瀬戸内地域は、島・海の織りなす優れた景観に恵まれており、歴史や独自の文化について高いポテンシャルを有していることに関し議論を深める必要があることが示されました。そのため、瀬戸内の島々、特に塩飽諸島等の瀬戸内地域における島旅の活性化を目的として、2021年4月に香川大学大学院地域マネジメント研究科と共同で「瀬戸内島旅活性化研究会（以下、「研究会」という。）」を設置いたしました。

研究会は、島らしい豊かな自然・原風景との触れ合い、塩飽独自の歴史・文化の堪能等の高いポテンシャルを有しているにもかかわらず、直島諸島と比べまだまだ観光来訪者が少ないとされている塩飽諸島を主な検討ターゲットとし、備讃瀬戸全体の島旅の魅力向上への貢献に取り組むことをテーマに、瀬戸内地域経済の活性化に関心の高い有識者、民間事業者、DMO・観光協会、自治体、行政機関等の皆様が一堂に会し、主に以下の3つの内容について議論を深めていくこととしております。

- ・島民の方々との連携による自然環境、歴史、食文化等の地域資源を活かした魅力度の高い体験コンテンツの企画
- ・これらを組み込んだストーリー性の高い島旅周遊ツアーの企画
- ・効果的な塩飽諸島の観光資源関連情報の発信

こうしたテーマに対する一体的な議論を通じ、有効かつ実効性の高いアウトプットを打ち出していくことを目的として、島の自然環境、歴史、食文化等の地域資源を活かした体験コンテンツの企画、島から島を巡る周遊ツアーの企画等、島旅の魅力向上に取り組んでいくこととし、2021年6月21日に第1回の研究会を開催しました。

研究会においては、

- (1) 塩飽諸島各島の自然環境、歴史・食文化等の地域資源を活かした体験プログラムの企画
- (2) 魅力度の高い塩飽諸島等における周遊島旅ツアーの企画

をテーマに意見交換が行われました。その成果として、塩飽諸島各島において、ジオ、サイクリング・シーカヤックによるアクティビティ、地元ガイドによる自然体験や海洋環境体験等の様々なテーマの体験プログラムを組み込んだツアー企画等を行い、地域社会の活性化をベースとした、持続可能な観光による地方創生を目的とする取り組みを実施することが議論されました。

この内容をもとに、2021年度については、例えば与島での瀬戸大橋塔頂体験と志々島での歴史や島歩きを体験できるアドベンチャーツーリズム、粟島での海ほたる鑑賞やビーチコーミングといったサステイナブルツーリズムを組み合わせたツアー等を企画し、瀬戸内の歴史と自然を肌で体験できるモデルツアーを複数実施する計画としております。こうしたモデルツアーによる課題の抽出等を通じて、旅行商品の造成に取り組むとともに、塩飽諸島における島旅の活性化等を目的とした共同研究に取り組んでいます。



写真2 第1回瀬戸内島旅活性化研究会



図2 第1回瀬戸内島旅活性化研究会で提案されたモニターツアーの例

## 5 おわりに

現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くのか見通せない状況ではありますが、早期の終息を願うとともに、終息後には多くの方が瀬戸内地域に來られて様々な楽しみを発見できるよう準備をととのえていきたいと考えております。

今後も、香川大学をはじめ、研究会構成員の皆様や地元の方々と連携しながら議論を進め、島の自然環境、歴史、食文化等の地域資源を活かした体験コンテンツの企画、島から島を巡る周遊ツアーの企画等を通じて、島旅の魅力向上に取り組んでまいります。